

数 学

注 意

- 1 問題は **1** から **4** までで、7 ページにわたって印刷してあります。
また、解答用紙は両面に印刷してあります。
- 2 検査時間は 50 分で、終わりは午前 11 時 10 分です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 解答は全て解答用紙に HB 又は B の鉛筆 (シャープペンシルも可) を使って
明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えに根号が含まれるときは、根号を付けたまま、分母に根号を含まない
形で表しなさい。また、根号の中を最も小さい自然数にしなさい。
- 6 答えは、解答用紙の決められた欄からはみ出さないように書きなさい。
- 7 解答を直すときは、きれいに消してから、消しくずを残さないようにして、
新しい答えを書きなさい。
- 8 受検番号を解答用紙の表面と裏面の決められた欄に書き、表面については、
その数字の ○ の中を正確に塗りつぶしなさい。
- 9 解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

1 次の各問に答えよ。

〔問1〕 $\left(\frac{\sqrt{5}+\sqrt{3}}{\sqrt{2}}\right)^2 + \left(\frac{\sqrt{5}+\sqrt{3}}{\sqrt{2}}\right)\left(\frac{\sqrt{5}-\sqrt{3}}{\sqrt{2}}\right) - \left(\frac{\sqrt{5}-\sqrt{3}}{\sqrt{2}}\right)^2$ を計算せよ。

〔問2〕 連立方程式
$$\begin{cases} \frac{1}{2}x - \frac{1}{4}y = -\frac{1}{3} \\ 2x + 6y = 1 \end{cases}$$
 を解け。

〔問3〕 2次方程式 $(2x-1)^2 - 6 = 5(2x-1)$ を解け。

〔問4〕 箱の中に1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8の数字を1つずつ書いた8枚のカード①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧が入っている。

箱の中から1枚のカードを取り出し、取り出したカードを箱に戻すという操作を2回繰り返す。1回目に取り出したカードに書かれた数を a 、2回目に取り出したカードに書かれた数を b とするとき、2桁の自然数 $10a+b$ が3の倍数となる確率を求めよ。

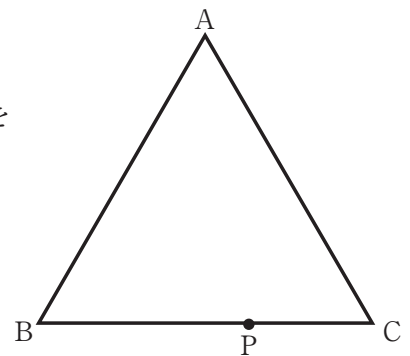
ただし、どのカードが取り出されることも同様に確からしいものとする。

〔問5〕 右の図において、 $\triangle ABC$ は正三角形である。

点Pは辺BC上にあり、 $BP:PC = \sqrt{3}:1$ である。

解答欄に示した図をもとにして、点Pを定規とコンパスを用いて作図によって求め、点Pの位置を示す文字Pも書け。

ただし、作図に用いた線は消さないでおくこと。



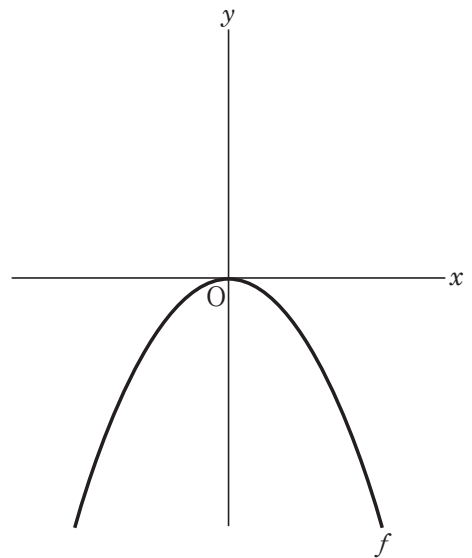
2

右の図1で、点Oは原点、曲線fは関数 $y = -\frac{1}{2}x^2$ のグラフを表している。

原点から点(1, 0)までの距離、および原点から点(0, 1)までの距離をそれぞれ1cmとする。

次の各問に答えよ。

図1



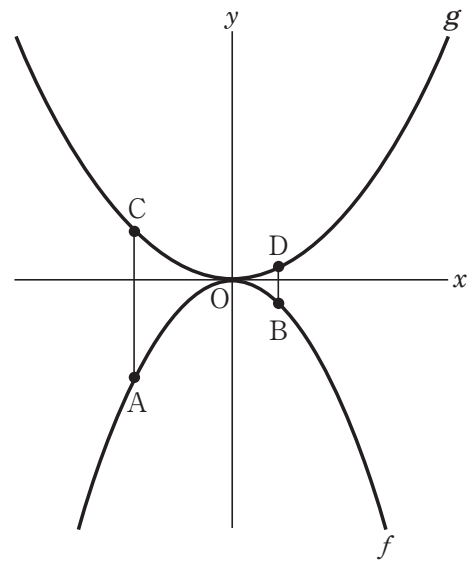
〔問1〕 関数 $y = -\frac{1}{2}x^2$ について、

x の変域が $-2a \leq x \leq a$ ($a > 0$) であるとき、

y の変域を不等号と a を用いて $\leq y \leq$ で表せ。

〔問2〕 右の図2は図1において、曲線 f 上にあり
 x 座標が $-2a$, a ($a > 0$) である点をそれぞれ
 A, B とし、曲線 g は関数 $y = px^2$ ($p > 0$)のグラフで、
 曲線 g 上にあり x 座標が $-2a$, a である点を
 それぞれ C, D とし、点 A と点 C , 点 B と点 D を
 それぞれ結んだ場合を表している。

図2



- (1) $a = \frac{1}{3}$, $p = \frac{1}{4}$ のとき、2点 A, B を通る直線と2点 C, D を通る直線との交点を E ,
 曲線 g 上にあり、 x 座標が t で点 C と異なる点を F とし、点 A と点 F , 点 E と点 F を
 それぞれ結んだ場合を考える。

$\triangle AEC$ の面積と $\triangle AEF$ の面積が等しくなるとき、 t の値を求めよ。

ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、途中の式や計算なども書け。

- (2) 点 O と点 A , 点 O と点 B , 点 O と点 C , 点 O と点 D をそれぞれ結んだ場合を考える。
 $\triangle OAC$, $\triangle OBD$ の面積をそれぞれ $S \text{ cm}^2$, $T \text{ cm}^2$ とするとき、 $S+T$ を a, p を用いて表せ。
 また、 a, p がともに自然数のとき、 $S+T$ の値が自然数になるもののうち、最も小さい値
 を求めよ。

3

右の図1で、 $\triangle ABC$ は鋭角三角形である。

図1

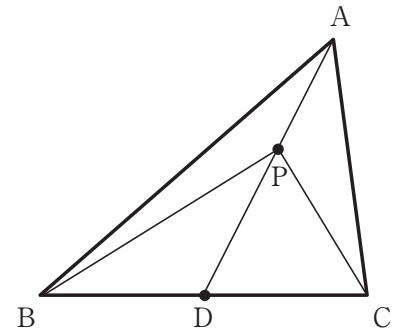
辺 BC の中点を D とする。

頂点 A と点 D を結ぶ。

点 P は線分 AD 上にある点で、頂点 A と点 D の
いずれにも一致しない。

頂点 B と点 P 、頂点 C と点 P をそれぞれ結ぶ。

次の各問に答えよ。

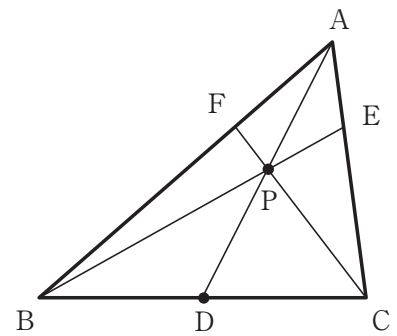


[問1] 図1において、 $\angle BPC = 90^\circ$ 、 $\angle PDC = 78^\circ$ のとき、 $\angle APB$ の大きさは何度か。

〔問2〕 右の図2は、図1において、

線分BPをPの方向に延ばした直線と辺ACとの交点をE、線分CPをPの方向に延ばした直線と辺ABとの交点をFとした場合を表している。

図2



- (1) 点Fを通り、線分ADに平行な直線を引き、線分BP、線分BDとの交点をそれぞれH、Iとした場合を考える。

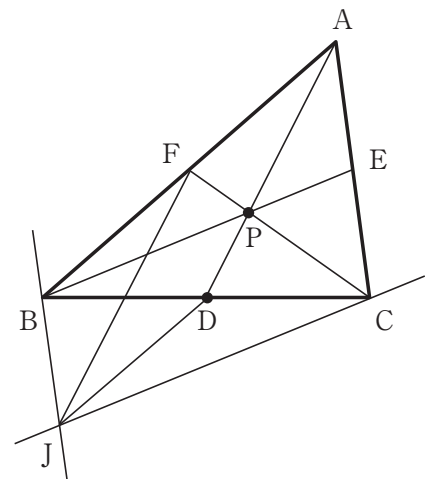
BF : FA = 2 : 1 のとき、HI : AD を最も簡単な整数の比で表せ。

- (2) 右の図3は、図2において、

頂点Bを通り、辺ACに平行に引いた直線と、頂点Cを通り、辺BEに平行に引いた直線との交点をJとし、点Dと点J、点Fと点Jをそれぞれ結んだ場合を表している。

点E、点Fがそれぞれ辺AC、辺ABの midpoint であるとき、四角形AFJDは平行四辺形であることを証明せよ。

図3

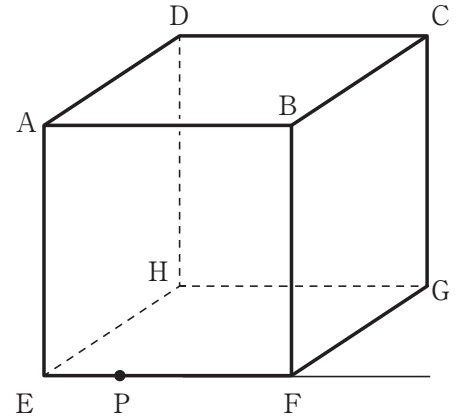


4 右の図1に示した立体 ABCD-EFGH は、1辺の長さが 8 cm の立方体である。

辺 EF および線分 EF を F の方向に延ばした直線上にある点 P とする。

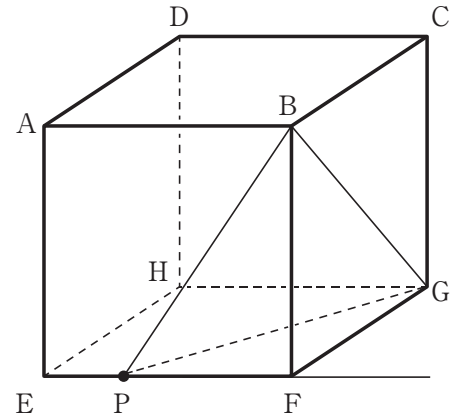
次の各問に答えよ。

図1



〔問1〕 右の図2は、図1において、点 P と頂点 B、頂点 B と頂点 G、頂点 G と点 P をそれぞれ結んだ場合を表している。

図2



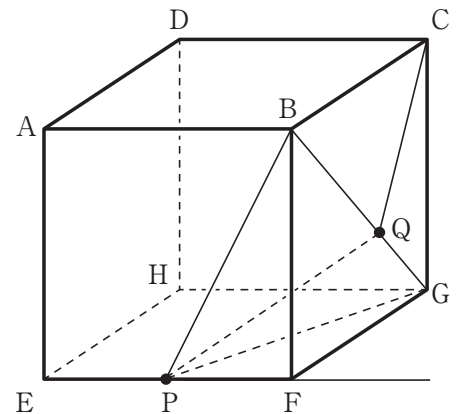
(1) 点 P が辺 EF 上にあり、立体 P-BFG の体積が立方体 ABCD-EFGH の体積の $\frac{1}{10}$ 倍になるとき、EP の長さは何 cm か。

(2) 右の図3は、図2において、EP=4 cm のとき、線分 BG 上にあり、頂点 B、頂点 G のいずれにも一致しない点を Q とし、点 P と点 Q、頂点 C と点 Q をそれぞれ結んだ場合を表している。

PQ+QC の長さが最も短くなる時、 $\triangle PQG$ と $\triangle BQC$ の面積の和は何 cm^2 か。

ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、図や途中の式などもかけ。

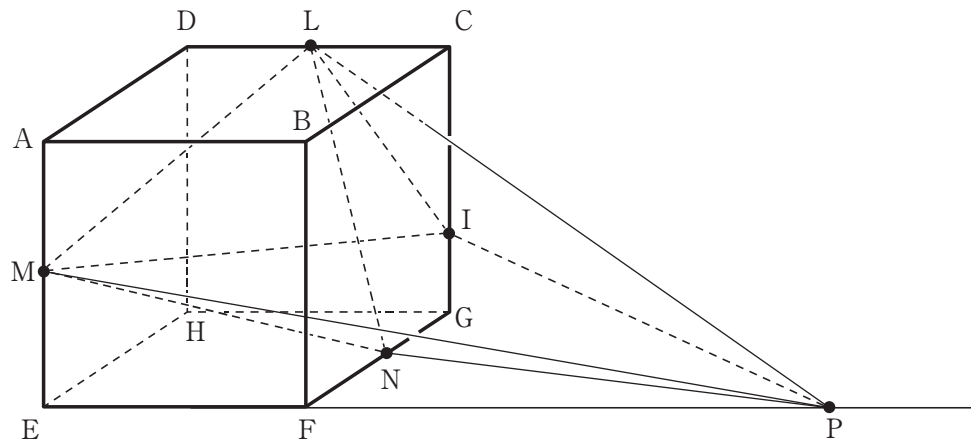
図3



〔問2〕 下の図4は、図1において、 $EP=24\text{ cm}$ のとき、辺 CD 、辺 AE 、辺 FG の中点をそれぞれ L 、 M 、 N とし、辺 CG 上にあり、頂点 C 、頂点 G のいずれにも一致しない点を I とし、点 M と点 N 、点 N と点 P 、点 P と点 M 、点 L と点 M 、点 L と点 N 、点 L と点 P 、点 I と点 M 、点 I と点 L 、点 I と点 P をそれぞれ結んだ場合を表している。

立体 $N-LMP$ と立体 $I-LMP$ の体積が等しいとき、 IG の長さは何 cm か。

図4



受験番号					

正答表 数学

正答表 数学

マーク・解答上の注意事項

- 1 受験番号欄は、HB又はBの鉛筆（シャープペンシルも可）を使って、○の中を正確に塗りつぶすこと。
- 2 記入した内容を直すときは、きれいに消して、消しくずを残さないこと。
- 3 決められた欄以外にマークしたり、記入したりしないこと。

良い例	悪い例

* 受験番号欄は裏面にもあります。

受験番号						
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

(4-国)

1	
〔問1〕	$1 + 2\sqrt{15}$
〔問2〕	$x = -\frac{1}{2}, y = \frac{1}{3}$
〔問3〕	$0, \frac{7}{2}$
〔問4〕	$\frac{11}{32}$
〔問5〕	【作図】

2	
〔問1〕	$-2a^2 \leq y \leq 0$
〔問2〕	(1) 【途中の式や計算など】

直線CFは、傾きが直線ABと等しく点C $(-\frac{2}{3}, \frac{1}{9})$ を通る
 ここで、直線ABを $y = mx + n$ とおき
 $A(-\frac{2}{3}, -\frac{2}{9}), B(\frac{1}{3}, -\frac{1}{18})$ を代入すると
 $-\frac{2}{9} = -\frac{2}{3}m + n \dots \textcircled{1} \quad -\frac{1}{18} = \frac{1}{3}m + n \dots \textcircled{2}$

②-① より 傾き $m = \frac{1}{6}$
 したがって 直線CFは $y = \frac{1}{6}x + q$ とおき
 $C(-\frac{2}{3}, \frac{1}{9})$ を代入すると
 $\frac{1}{9} = \frac{1}{6}(-\frac{2}{3}) + q$ より $q = \frac{2}{9}$
 よって 直線CFは、 $y = \frac{1}{6}x + \frac{2}{9}$ と表され
 点Fのy座標は $\frac{1}{6}t + \frac{2}{9} \dots \textcircled{3}$
 また、点Fは $y = \frac{1}{4}x^2$ 上の点より y座標は $\frac{1}{4}t^2 \dots \textcircled{4}$
 ③、④より $\frac{1}{4}t^2 = \frac{1}{6}t + \frac{2}{9}$
 整理して $9t^2 - 6t - 8 = 0$
 $t = \frac{6 \pm \sqrt{324}}{18} = \frac{6 \pm 18}{18} = -\frac{2}{3}, \frac{4}{3}$
 点Fは点Cと異なる点より $t = \frac{4}{3}$

(答え) $t = \frac{4}{3}$

〔問2〕	(2)	a, p を用いて表すと $\frac{9}{2}a^3p + \frac{9}{4}a^3$
		最も小さい値は 54

3	
〔問1〕	141 度
〔問2〕	(1) HI:AD = 1:3
〔問2〕	(2) 【証明】

BE//JC, BJ//EC より 四角形BJCEは平行四辺形である。
 また、辺BCは平行四辺形BJCEの対角線で、
 仮定から点Dは辺BCの中点だから、BD=CDより、
 点Dは平行四辺形BJCEの対角線の交点である。
 点Jと点Eは平行四辺形BJCEの頂点だから、
 点Jと点Eを結ぶと、線分JEは平行四辺形BJCEの対角線なので、点Dを通る。
 したがって
 DJ=ED ……①
 △CABにおいて
 仮定より
 点Dと点Eはそれぞれ辺CBと辺CAの中点なので
 $ED \parallel AB, ED = \frac{1}{2}AB$
 また、点Fは辺ABの中点なので、AF=BFより
 $\frac{1}{2}AB = AF$
 したがって
 $AF \parallel ED, AF = ED$

①より
 $AF \parallel DJ, AF = DJ$
 よって、
 1組の対辺が平行で長さが等しいので
 四角形AFJDは平行四辺形である。

4	
〔問1〕	(1) $\frac{16}{5}$ cm
〔問1〕	(2) 【図や途中の式など】

立体PGCBの展開図の一部を考えて、
 点Qは線分BGと線分CPの交点である。
 ここで、CB=CG=8, PB=PG= $\sqrt{4^2+8^2}=4\sqrt{5}$ で
 △PBGと△CBGは二等辺三角形なので、
 QはBGの中点で、CP⊥BGである。

$CQ^2 = 8^2 - (4\sqrt{2})^2$
 より
 $CQ = 4\sqrt{2}$
 $PQ^2 = (4\sqrt{5})^2 - (4\sqrt{2})^2$
 より
 $PQ = 4\sqrt{3}$

よって
 $\triangle PQG + \triangle CQB$
 $= \text{四角形PGCB} \times \frac{1}{2}$
 $= (BG \times CQ \times \frac{1}{2} + BG \times PQ \times \frac{1}{2}) \times \frac{1}{2}$
 $= BG(CQ + PQ) \times \frac{1}{4}$
 $= 8\sqrt{2}(4\sqrt{2} + 4\sqrt{3}) \times \frac{1}{4}$
 $= 16 + 8\sqrt{6}$

(答え) $(16 + 8\sqrt{6}) \text{ cm}^2$

〔問2〕	$\frac{7}{3}$ cm
------	------------------